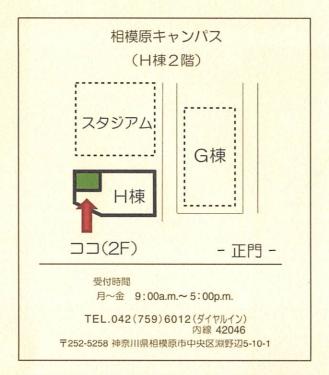
少し様子が気になるのだけれど、、、という学生 がいましたら、学生相談センターという場で相談 できることもご紹介いただければと思います。



学生一人では行きづらそうな場合には、事前に 予約をしていただいたり、お連れいただく形でも けっこうです。



また、学生への対応の仕方など、コンサルテーションとして、教職員の皆様に学生相談センターをご利用いただくこともできます。





教職員の皆様



大学には様々な個性を持った学生が 集まってきます。

大学生活に望むもの期待することも一人一人 違っているかもしれません。

それぞれの学生が「自分に合った学生生活」を 過ごしていくためには、

学生自身の努力と周囲のサポートのバランスが 大切になるのではないでしょうか。

青山学院大学 学生相談センター



学生の個性はいろいろですが、一人一人に目を向けた時に

次のようなことはありませんか?

頻繁な遅刻

遅刻や、約束したことを 忘れることが多い

過敏な反応

音や臭い、光などに

極端に反応する ことがある

話が止まらない

ゼミなどでの発言が 極端に少ない、 または 一人で話し続ける

单独行動

別人のよう

人を避けて行動する ようになった。

最近見かけない

理由が不明のまま 最近学校で見かけ なくなっている

調子が悪い?

以前と態度や表情が 明らかに違っている ように見える

常に身体の不調を 訴えるようになった

单独行動

落ち着かない様子が 目立ったり、授業中 教室を何度も出入り していることがある

冗談なのに

会話のユーモアが 理解できずに真顔で いたり、怒りだしたり することがある

自分の意見は、、、

落ち着かない

友達と関わらず

一人で行動して

いることが多い

特定の分野の知識は 豊富であるのに、 自分自身の感想や 意見については言え ないことがある。



急に学校へ来なくなった、以前と様子や態度が 著しく変わった、身体的な不調を強く訴えるなどの 場合でも精神的な要因が隠れていることもあり、 医療機関への関与が必要な場合もあります。



このような傾向が顕著に見られる場合「発達障害」による支障が 生じている場合も考えられます

その場合、通常の対応や励ましだけでは良い方向への解決が 難しいこともあります